

第 6 回全国高専同窓会連合会総会議事録

日 時：2024 年 11 月 16 日（土） 14：00～16：00

会 場：東京港区芝 東京グランドホテル 3F ホール

参加者：同窓会 15 高専同窓会

来 賓 高専機構

参加人数 24 名

総合司会：連合会事務局長 朝永憲法（佐世保高専同窓会）

1、開会挨拶

事務局長朝永から事務局を代表して挨拶。

2、参加同窓会報告

朝永から北海道から九州までの参加同窓会を紹介。近畿地区が空白だが、今回私立のサレジオ高専育英学院同窓会が新たに参加したことを報告。

3、会長挨拶

連合会会長の旭川高専同窓会・村上孝志が挨拶。

4、来賓挨拶

高専機構執行調整役・理事長特別補佐の加藤弘樹氏：KOSEN に対する法人評価の現状について資料を基に説明があった。総合評価 A を令和 3 年度から連続して獲得しており KOSEN にたいする期待の高さがその評価に現れている。その成果は関係者の努力はもちろん多くの同窓生の卒業後の活躍と支援もあってのこと。高専人会の活動も始まっているので、個人や団体同士の連携が強化されることを願っている旨の挨拶。また、今回参加の高知高専出身で参議院議員梶原大介氏の紹介と日経新聞の高専特集の紹介があった。

・連合会顧問・都城高専校長の田村隆弘氏：徳山高専出身のご自身の経歴紹介と、その経験から各高専同窓会の連携の重要性を実感するので高専同窓会連合会への参加校が増えるよう協力していきたい旨の挨拶。

5、議事

① 活動報告

・朝永が全国高等専門学校連合会総会（2024. 6. 25・一橋大学一ツ橋講堂）に参加して同窓会連合会の状況説明と参加校増加への協力をお願いした。前記連合会は公私立を含む全国の全高専の連合会である。

・事務局会議の開催 小倉にて 2023. 12. 19 博多にて 2024. 7. 20 それぞれ総会の総括と準備のための会合。

・ホームページの管理運営 (<http://kosen-dousoukai-rengoukai.net/>)

名称：全国高専同窓会連合会

② 会計報告並びに会計監査報告

- ・朝永より 2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日の会計報告をした。
- ・会計報告に対する監査結果を監事の有明高専同窓会会長・岡秀昭氏より報告。

③ 活動計画

- ・役員の変更 諸事情により退任する役員が出たため、別記の役員名簿のとおり役員の新体制を提案。
- ・ホームページのメンテナンスに関わる費用及び活用の推進について提案
- ・参加同窓会の拡大について、各地区における高専間の交流活性化と一部市域で取り組んでいる連携事業への支援などについて提案。
- ・高専機構との連携強化について提案。

＊以上の議事内容について、一括で拍手による承認がされた。

④ その他

今回は、会報の発行・名簿の発刊・60周年行事・在校生支援・事業活動など同窓会活動全般についての意見交換の場とし、活発な発言がなされた。

発言者は次の通りである。

- ・高知高専校友会事務局長山崎利文氏：高知高専校友会の取り組みについて、同窓会を校友会に改称した経緯や学生や学校への支援、会費の徴収状況等。
- ・北九州高専同窓会会長安部俊一氏：会報の発行をしていないがホームページのトピックスで活動報告し、現在はメール会員の拡大中等。
- ・大分高専同窓会明愛会会長辛島實氏：支部活動や会費の徴収状況等。名簿の発行に関して空白の会員の増加や支部活動が高齢会員中心になりがちな悩み等。
- ・旭川高専同窓会顧問村上孝志氏：メーリングリストの活用の有効性等。
- ・阿南高専悠久同窓会副会長西野賢太郎氏 連合会規約に各校の交流が規定されている以上もっと参加校の増加対策を。阿南高専では学校の協力も得て鹿児島・豊田・八戸などの各校同窓会の活動状況を調査し、大いに参考になった。連合会事務局でもアンケート等で調査し、それを基にして協調してはどうか。また、入学志願者の増加対策は地方校では課題であろう。ブロック内での活動を含めて魅力ある連合会活動を実践して、高専の魅力を発信できればいいと思う。
- ・事務局長朝永：九州ではアンケートを実行して一覧にしているが、関係校の承認があれば公表してもいい。
- ・有明高専同窓会有友倶楽部会長岡秀昭氏：同窓会の役割は母校の応援団であろうから、在校生はもちろん地域に残る同窓生の活動などを支援する試みもしている。会報は年2回発行しているが経済的負担は大きな課題。
- ・都城高専校長田村隆弘氏：高専発足 60 年の経過によって各分野での高専の実績

が表に現れるようになってきた。企業は高専を求めていると実感しているがこれまでは数的にもマイナーな立場であった。評価はますます高くなっているし、高専から大学に進学した人も高専卒業生であることを公言するひが増えている。そして人口減少時代に入っても高専の定員も卒業生数も維持している。高専は高等教育機関であることと期待から新設の機運も国内外にある。高専の灯を消さないためには卒業生などの人脈をしっかりと繋いで行く必要がある。協力したい。

・事務局長朝永：追い風の中での高専支援は重要である。華僑の成功は人脈・情報・金脈がしっかりしていることだと聞いたことがある。それに倣うべきだろう。例を挙げれば、佐世保高専では若年会員の参加を促すため魅力ある会合にするよう企画しているし、学校を支援するために「ふるさと納税」を利用して効果を上げている。

・鶴岡高専同窓会峰友会会長飯島政雄氏：同窓会の事務局員や役員の報酬はどうしているか。

・高知高専では事務局が校内に在り退職教員でもあるので固定給として少額を支給。大分高専では役員手当を年額で支給。出張にあたっては交通費・宿泊費を全額支給。徳山高専では必要に応じて事務局員を雇用する形で手当てを支払っている。等の状況説明があった。

（＊時間の関係で質疑を終了し、懇親会に場所を移して継続することとした。）

6、閉会挨拶

事務局長朝永から参会と熱心な討議に対する謝辞。

7、写真撮影

8、懇親会

会場を宴会場に移して懇親会。個別に情報交換しながら参加者がそれぞれの立場から発言されて盛会であった。

活発な意見交換の中で、連合会の参加同窓会を増やすためには魅力ある連合会活動が必要であり、そのために地区ごとの連携が不可欠であろうということになり、九州地区のコラボ九州を参考にしながら事務局の支援の下で、当面次の同窓会に各地区における活動のお世話をお願いすることとなった。

北海道地区は旭川高専同窓会 東北地区は鶴岡高専同窓会・峰友会

関東地区はサレジオ高専育英学院同窓会 東海北陸地区は石川高専同窓会

中国地区は広島商船高専校友会 四国地区は高知高専校友会

九州地区は持ち回りでコラボ九州の幹事校を決定

近畿地区については事務局で参加を促す活動を進める

予定時間を超えて活発な交流会となり、再会を期して閉会となった。

以上

参加同窓会（オブザーバー含む）

旭川高専同窓会 鶴岡高専同窓会・峰友会 長野高専同窓会
東京高専同窓会 サレジオ高専育英学院同窓会 石川高専同窓会
米子高専同窓会 広島商船高専校友会 宇部高専同窓会・宇部しらとり会
高知高専校友会 阿南高専悠久同窓会 有明高専同窓会・有友倶楽部
北九州高専同窓会・雄志会 佐世保高専同窓会 大分高専同窓会・明愛会

全国高専同窓会連合会役員名簿（2024 年）

顧問	田村 隆弘	都城高専校長
会長	村上 孝志	旭川高専同窓会 顧問
副会長	青木 繁美	大分高専同窓会・明愛会 顧問
	中山 隆志	広島商船高専校友会 会長
理事	久保 英明	高知高専校友会 会長
	友廣 啓二	佐世保高専同窓会 会長
	（近畿地区代表 予定）	
監事	岡 英明	有明高専同窓会有友倶楽部 会長
	川村 宗広	徳山高専同窓会・高城会 会長

全国高専同窓会連合会事務局：

事務局長 佐世保高専同窓会 朝永憲法

Email:kenpou@tuc.bbq.jp tel;090-8911-5493

々（ホームページ担当）北口功幸

広島商船高専校友会 清田耕司

有明高専同窓会有友倶楽部 原田義史

大分高専同窓会・明愛会 福隅郁生

々 青木繁美